

平成 22 年度上期水道事業の概況

(建設事業の状況)

給水区域内の安定供給を図るため、塩化ビニル管をはじめとする老朽管の布設替工事は、美田地先ほかで改良工事 4 件と消火栓設置工事 1 件を実施している。さらに、老朽管等改良事業として前年度実施した工事か所の舗装本復旧工事 1 件と、つくばエクスプレス沿線整備事業 4 地区などで配水管拡張工事 6 件を実施している。また、前年度繰越工事 11 件のうち、8 件の工事が完了している。一方、既設浄水場更新事業（江戸川台）の第 1 期分として、平成 22 年度までの継続事業で江戸川台浄水場配水池築造工事を実施している。

(業務の状況)

当期の給水人口は 159,947 人で、前年同期に比べ 2,603 人(1.65 パーセント)の増加があった。

給水量は 8,758,872 立方メートルで、前年同期に比べ 241,222 立方メートル(2.83 パーセント)の増となった。

なお、1 日最大給水量は、52,600 立方メートルを記録し、前年同期に比べ 460 立方メートル(0.88 パーセント)の増となっている。

(経理の状況)

上期における総収益は、1,654,788,314 円（消費税抜き）で、前年同期に比べ 61,187,762 円の減額となった。総費用は 1,543,197,196 円（消費税抜き）で、前年同期に比べ 27,287,225 円の支出減となった。その結果、総収益から総費用を差し引いた当期の損益は 111,591,118 円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が 1,482,947,464 円で前年度同期に比べ 39,102,802 円(2.71 パーセント)の増収となった。このほか、営業外収益は 171,517,334 円で、前年度同期に比べ 100,587,052 円(36.97 パーセント)の減収となった。次に費用の内訳では、営業費用が 1,422,807,038 円で前年同期に比べ 22,114,605 円(1.53 パーセント)の減額となった。このほか、営業外費用は 119,826,786 円で、前年同期に比べ 4,751,587 円(3.81 パーセント)の減額となった。